

第1学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
教科書	美術1（日本文教出版）
副教材	美術資料（秀学社）、レタリング字典（秀学社）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫して表している。 	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 主題（自分の表したいこと）をもって制作に取り組みましょう。 主題をアイディアスケッチや言葉、文章に表現して、構想を練りましょう。 作品について感じたことを友達とじっくり話し合ひましょう。 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
----	--

家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・「ものを見る目」「ものごとを感じる心」を育てましょう。美術館や博物館などにある美術作品はもちろんですが、テレビ、雑誌、お店の看板やポスター、本の表紙や挿絵なども注意深く見てみましょう。また、身近な自然（草花、空、川など）にも心を傾けてみましょう。世の中にはたくさんの「いろ」と「かたち」があふれています。作品づくりのヒントを見逃さないよう、アンテナを高く持っていきましょう。 ・定期テスト前には、鉛筆デッサンの練習をしましょう。デッサンは、描けば描くほど上達します。あきらめずに取り組みましょう。
----	--

4 主な題材・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・美術との出会い ・中学校美術の世界へようこそ ・この教科書で学ぶみなさんへ ○見つめると見えてくるもの（絵画） <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆で描く ・色彩の基本・仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、1年生で学ぶことや、3年間の学習の見通しをもつ。 身近なものを見つめ、感じ取った形や色彩、明暗、質感などの特徴や美しさを基に主題を生み出し、表現方法を工夫して絵で表現する。 <ul style="list-style-type: none"> ・身近なものをよく見たり、触ったりして特徴を捉え、主題を生み出す。 ・主題を基に、全体と部分との関係を考えるなどして構想を練る。 ・鉛筆で「形をとらえる」方法、「明暗をあらわす」方法、「立体感を表す」方法を理解する。 ・鉛筆の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。 ・色光の三原色、色料の三原色の違いについて理解する。 ・色の三属性、色の感じなどについて理解する。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○文字っておもしろい（デザイン） <ul style="list-style-type: none"> ・文字の基本 	<ul style="list-style-type: none"> イメージや伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。 <ul style="list-style-type: none"> ・明朝体、ゴシック体の基本的な点画を理解する。 ・身近なところにあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える。 ・文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考えてデザインする。 ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○広がる模様の世界（デザイン） 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や条件などを基に、自然物の形や色彩の特徴を捉えて、構成を工夫してデザインする。 <ul style="list-style-type: none"> ・目的や条件を基に、自然物の形や色彩の特徴の美しさから主題を生み出す。 ・スケッチなどにより形や色彩の特徴を捉え、単純化や強調をするなどして構成を考える。 ・効果を考えながら彩色する。 ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について考えを深める。